

L判サイズの写真が縦にも横にも飾れる木製のフォトフレームを芯材につくってみよう。

フォトフレームをつくろう

作品づくりのオススメポイント

- 低学年はビーズなどを紙粘土に埋め込み飾り、高学年は紙粘土で細かくつくり込む事ができます。
- 作品を持って帰って自宅で飾る事ができるので、思い出の作品になります。
- L判サイズの写真が縦にも横にも入れて飾れます。

用意するもの



- 製作フォトフレーム
- ヘラ
- 図工年どつくピタ(L)
- ビーズ
- 粘土板
- 水彩絵の具



1 スタンド部品を差し込みフォトフレームをたてかけます。

POINT スタンド部品をフォトフレームの穴に差し込んで上下を確認してください。



2 フォトフレームのフチの表面に紙粘土を盛り付けます。

POINT 写真の入る部分には粘土を盛りつけないでください。



3 粘土で形をつくり、飾りつけをします。

POINT 型抜きを使って抜いた粘土を貼付けると簡単にできます。



4 ビーズなどの飾りを埋め込みます。

POINT ビーズ以外にもおはじきや貝殻など埋め込むのも工夫してみましょう。



5 粘土が乾燥後、絵の具で色を塗ります。

POINT 仕上げにニスを塗るとツヤが出て絵の具はがれず作品が長持ちします。



6 透明板の保護カバー(両面)をはがします。

POINT フォトフレームの芯材から透明板を引き出して保護カバーをはがします。



7 フォトフレームに写真を入れて完成です。

POINT 写真に合わせたデザインの作品に仕上げると素敵になります。

